
サクラ

アサカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サクラ

【Nコード】

N6485D

【作者名】

アサカ

【あらすじ】

高熱のサトシは、大きなサクラの木がある桜木病院に入院した。そのサクラの花は、死者がでないと赤く染まらないらしい。サトシは、そのサクラの花を自分の真紅の血で染めることになるのだろうか・・・？

プロローグ 噂のサクラ

ある所に、「桜木病院」と言う病院があった。

その病院の名前の由来は、病院の庭にある桜の大きな木があるからだ。病院を造った時にはただ単に桜の木があるだけだったが、

その桜は、病院で一人でも死者がでないと、白い花だった。

だが・・・、死者がでると、その死者の血の色のように真紅に染まるのだ。

「サトシ君、ここがあなたの病院よ。」

ある冬の日、サトシという男の子が桜木病院に入院した。

サトシは、最近高熱がひどく、市内の病院では無理と言うことで、熱が下がっているこの日に、ここに来たのだ。

「母さん、僕・・・」

サトシは、何かを言おうとしたが、途中で、口ごもった。

「大丈夫よ。きっと、ここのお医者さんが治してくれるからね。」

もちろん、二人は桜のことも、何もかも知らなかった・・・。

「・・・サトシか。」

サトシと、サトシの母親を、噂の桜の木の枝に上手く立って見下ろしていたのは、

以前、この病院で兄を失った、灰音だった。

「ここで・・・赤い桜を咲かすのかな。」

そうつぶやいて・・・。

プロローグ 噂のサクラ（後書き）

『サクラ』プロローグお読みいただき有難うございます!!
これから、サトシは・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6485d/>

サクラ

2011年10月4日19時40分発行